

A Pragmatic War of Austrian Succession 1741-1748

公式デザイナー *Errata* - 1-19-20

カードの **Errata** :

カード#16 説明／訂正：テキストを変更します。： **攻撃部隊**は6のみで命中し、士気阻喪状態の**攻撃部隊**は全く攻撃できず、前にいたスペースへ戻らなければならない。

デザイナーの注釈：これがカードの元々の意図ですが、注意深く吟味した後で、旧テキストは誤解を招く可能性があると判断しました。

カウンターの **Errata** :

訂正：3個のザクセン軍団は、その裏面が減少戦力でなければなりません。

訂正：サククス [Saxe] の裏面は、0-2ではなく1-4でなければなりません。

マップの **Errata** :

訂正：Breslauは誤って首都としてマークされています。シュレージエンは首都を持ちません。

訂正：RegensbergではなくRegensburgです。

ルールの **Errata** :

デザイナーのコメント：APWは多数の0TR名称付指揮官を持ち（NPWS! やNYWには存在しません）、TRの使用はしばしば自由裁量です。もしも0TRの指揮官が随伴させる本国軍団を持たない「雇われ経営者」である場合、何らかの罰則があつてしかるべきです。したがって、これは本国軍団を持たない0TR名称付指揮官に関する説明です。:

3.1と3.1.1 説明：それぞれの本国勢力の少なくとも1個軍団と共にスタックしていない0TRの名称付指揮官は、何らかの目的でそのCRを使用しているときに-1CR罰則を持ちます。

6.1.1 特別勝利ポイント3番目のドット訂正：このドットを削除します。

7.2.1 説明：もしもカール・アルベルトが戦闘で死亡したら、続くターンに7.2.1が有効となります。加えて、もしも捕虜になったら、選択肢(b)を有効にするか、又は上記を有効にします。

デザイナーの注釈：彼の死は神聖ローマ帝国皇帝を空位にし、選帝のために史実よりも早くオーストリアの外交が有効となるため、最初のみが理に適っています。捕虜はやや異なる状況で、監禁中に死亡するか又は彼の自由と引き換えに退位を要求するオーストリアに屈服するため、VPsの支払は拒絶されると見なしました。

7.2.4 訂正：ジェノアは1745年に国事同盟ではなくブルボン家に与します（ルール翻訳は修正済）。

7.2.8 1741年の特別ルールの訂正：特別ルールの文末に以下を加えます。：「ハノーヴァー軍とヘッセン軍のユニットは、国事同盟の最初のアクション・カードの一部として、キャンペーン・アクションを実行できません。」

7.2.9 説明：シュレージエンは、ゲーム開始時にブルボン家の支配下です。

7.2.9 1項の最後から2番目のセンテンスを削除します。すなわち、フリードリヒが戦争から去るとき、同盟は自軍が支配していたシュレージエンと／プロイセン内のスペースについてのVPsを維持します（上記の6.1.1特別勝利ポイントの訂正を参照）。

7.2.9 1項と2項の説明：プロイセンが戦争から去るとき、部隊プールへ行く際に取り去られた軍団はその戦力状態を維持します。プロイセンが再参戦するとき、部隊プール内の全ユニットはそれらが部隊プール内に留まったか又は進入した際の戦力で戻ってきます。

7.2.9 説明：もしもプロイセンが戦争から去ると、増援と昇進は計画どおり発生しますが、7.2.9の1項に従って部隊プール内に置かれます。

訂正：15.3.2 指揮官の死傷 文章を読み替えます。：戦闘が解決された後、両プレイヤーは**戦闘に存在した自軍の各名称付指揮官**についてサイコロを2つ振ります（修正なしで、足して一緒にします）。無名指揮官は、決して指揮官死傷のサイコロを受けません。

説明 17.1：注釈：これは、もしもLOCがこの本国スペースにたどることができたら、12.2.3に従ってオーストリア軍団を置けることを意味します。つまり、この意味で首都として機能します。

20.1.1 と 20.2.1 訂正：ナポリ軍ユニットは、20.1.1 でその本国スペースと部隊プール内に出現するよう列記されていますが、代わりに 20.2.1 で 1742 年の増援として列記されなければなりません。これらは、1742 年のブルボン家増援フェイズになるまでどこにも出現しません。

20.2 解明：いくつかの軍団は、初期に部隊プール内でその減少状態で開始するよう列記されています。これは、ゲームに何ら影響を持ちません。戦力は純粋に歴史的な目的のために列記されました。

20.2.1 解明：1742 年にスペイン軍の増援が到着するとき、Orbetello が国事軍の支配下にある事態では、Orbetello にブルボン家の支配マーカーを置き、そのスペース内の国事軍部隊を合法的な退却スペースへ移すか、又は 15.4.4 に従って除去されます。

プレイの例の Errata：

27 頁 1741 年ーラウンド 1 プレイの例) 訂正：2 番目のセンテンス内に「結局は」の言葉を追加します。「...結局は限定補給になる罰則を避けるため...」

28 ページ 1741 年ーラウンド 4 訂正：「カール・アルベルトは 0 の TR を持ち、成功するために 5 以上のサイの目を振る必要があります」。彼は、成功するために 5 以上ではなく 6 が必要です。

30 頁 1742 年ーラウンド 1 訂正：「国事軍プレイヤーは、Breslau の支配を国事軍陣営に戻すため二番目の MP を使用します」。これは国事軍に別の VP を加え、新たな合計は 14 です。

プレイヤー補助チャートの Errata：

訂正：「Genzer」は「Grenzer」でなければなりません。

19.0 選択ルール

神聖ローマ帝国内のフランス軍補助部隊 [The French Auxiliary Force in The Empire]

17.2.1 バイエルンと神聖ローマ帝国に追加します。：カール・アルベルトが死去したとき、そのターン中バヴァリアと神聖ローマ帝国内の全スペースは、限定された期間について非交戦国（両陣営の友軍）になります。これは、これらの勢力内のカラのスペースをどうしても変換できず、どちらの陣営によっても自由に進入して通過でき、もしも敵部隊によって占められていなければ LOC として使用できることを意味します。もしも部隊の占めるスペースが 15.0 に従って進入されたら通常に戦闘が発生しますが、非交戦国の期間について要塞スペースは非要塞化スペースと見なされます。

非交戦国の期間は、以下のごとく判定される可変する数のアクション・ラウンドに限定されます。キャンペーン・フェイズの開始前、国事同盟プレイヤーは D6 を振ってサイの目を半分にし（端数切上げ）、結果は非交戦国アクション・ラウンドの数です。非交戦期間の終了時、ある陣営の部隊によって占められたいかなるスペースも VP 調整なしで適切な支配マーカーでマークされ、スペースは通常の状態に復帰します。

6.1.1 勝利ポイント (VPs) 特別勝利ポイントへの追加：カール・アルベルトがイン・プレイにある各ターンの冬営フェイズ終了時、もしも少なくとも 3 個のフランス軍団がバイエルン又はオーストリア（オーストリア・ミラノとネーデルランドを除く）内のスペース（たち）を占めていなければ、国事軍陣営に + 2 VPs を加えます。

デザイナーの注釈：この選択ルールは、Eric Williams が現行ルールについて、フランスが神聖ローマ帝国（バイエルン）指揮「下」に補助軍を配置する根拠が完全に反映されていないと述べたことに触発されました。加えて、カール・アルベルトの死去に続く空位中に、フランス軍がフランスまで LOC をたどる問題への療法となり得ます。

John B. Firer デザイナー

この Errata シートは、旧版の全てに優先されます。最新の変更は青字です。